

# 施策 49

## 基本施策 5 学校教育の充実

# 子どもの学びを支える教育環境の充実

### めざす姿 (施策の目的)

学校施設の老朽化対策や大規模改修が計画的に進められるとともに、時代の変化に応じた教育環境の整備が継続的に行われています。また、おいしい給食を提供できる環境の整備も行われ、児童・生徒が安全・安心に学校生活を送ることができています。

### 現状と課題

児童・生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう、校舎・体育館などの天井等非構造部材を含めた耐震化を実施していますが、多くの学校で築年数が50年を超えており、老朽化対策として計画的な施設の更新や既存校舎などの長寿命化を図ることが求められています。また、施設の更新時には、学校の適正規模・適正配置や、学校施設全体を学びの場として捉えた「新しい時代の学びを実現する学校づくり」\*の考え方を踏まえ、教育環境を整備していく必要があります。それらに加え、引き続き計画的に備品や設備の更新を行っていく必要があります。

給食センターでは、全ての児童・生徒が楽しく給食時間を過ごせるよう、必要となる食物アレルギー対応を含め、引き続き、安全・安心でおいしい学校給食を提供できる施設及び体制を維持する必要があります。

### 施策の方向性

- 学校施設については、学校施設改築・長寿命化改修計画や大規模改修整備方針などに基つき、計画的かつ着実な老朽化対策を実施していきます。
- 教育環境の充実に資するために、老朽化した備品については計画的に買換えを進め、更新を図っていきます。
- 給食センターでは、安全・安心でおいしい給食を提供できるよう、学校給食衛生管理基準等に適合した施設の管理運営、地場産食材の活用、食品検査等による食材の安全性の確認を行います。また、食物アレルギーの事故防止に向けた取組を徹底します。



市立学校給食センター



## 指標

指標名	基準値	目標値 (R11)	指標の説明
校内の全てのトイレを洋式化した小・中学校の割合	9.1% (R6)	87.9%	体育館や屋外も含め、校内の全てのトイレを洋式化した小・中学校の割合です。
校内の全ての照明器具をLED化した小・中学校の割合	15.2% (R6)	87.9%	校内の照明器具を全てLED化した小・中学校の割合です。
学校給食で地場産食材を使用した日数の割合	77.3% (R6)	85%	学校給食で地場産食材を使用した日数の割合です。

## 主要な取組

取組名称	令和8年度から11年度までの取組内容
学校施設老朽化対策事業 <b>重点</b>	学校施設改築・長寿命化改修計画に基づき、老朽化対策として、学校施設の改築を進めていきます。改築に当たり、バリアフリー化を含むユニバーサルデザインに配慮するとともに、災害時における避難所運営や、将来の人口動態も見すえた整備を行います。
学校適正規模・適正配置の取組 <b>重点</b>	学校の適正規模・適正配置の実施に向けた方策に基づき、統合検討校に関して、保護者や地域住民等の関係者との協議などを通じて、具体的な検討を進めます。また、児童・生徒数や学級数の動向を注視し、必要に応じて対応策を検討します。
学校施設整備事業	大規模改修整備方針に基づき、体育館等トイレの便器洋式化や床乾式化等改修、照明器具のLED化、屋上・屋根の防水改修など、経年劣化に伴い必要となる大規模改修を計画的に実施します。
教育財産の管理と活用	小・中学校の施設・設備を常に良好な状態において管理し、その目的に応じて効率的に運用していきます。
学校給食運営事業	学校給食衛生管理基準や大量調理施設衛生管理マニュアルに適合した施設運営を行うとともに、地場産食材の活用や食品検査等により食材の安全性を確認することで、安全・安心でおいしい給食の提供を継続します。また、学校給食における食物アレルギー対応方針を遵守し、学校と連携して食物アレルギーの事故防止に向けた取組を徹底します。

## 協働により推進したい取組

- ▶ 学校改築の設計時における「新しい時代の学びを実現する学校づくり」の検討に関すること。